

まちかど

アルバム



全国から「まつり」が集結！

とりぎん文化会館、コカ・コーラウエストスポーツパークなど

10月9日（金）から11日（日）まで、鳥取市を舞台に、全国のお祭りや伝統芸能が集結し、にぎわいで埋め尽くされました。前夜祭の9日には、県東部の各神社から麒麟獅子が34体集まり、それぞれの地域で受け継がれる舞を、若桜街道で披露し合いました。そのほかにも、鳥取市からは中国龍舞が、県中部からは倉吉牛鬼、女みこしが、県西部からは米子がいな万灯が駆けつけ、その妙技を競っていました。

目指せ！大食いナンバーワン

河原城

9月27日（日）、お城山展望台「河原城」で、月見会が開催されました。あいにくの天気でも中秋の名月を楽しむことはできませんでしたが、フリーマーケットやステージイベントなど楽しい催しが行われました。中でも、開館15周年記念の「フードバトル」は大盛り上がりで、5分間にうどんを何杯食べることができると競い合う催しに、会場からは大きな声援が送られていました。



万葉のふるさとでウォークラリー

国府町

秋晴れの好天に恵まれた10月4日（日）、「国府町万葉ウォークラリー大会」が国府町谷地区で開催されました。大会には、45チーム、215人が参加。各チェックポイントを回りながら問題を解いたり、ゲームをクリアしたりして、万葉集ゆかりの地を散策しました。ゴール後は「何位になれたかな？」「あ～、問題間違えた！」などの会話で盛り上がりながら、各自が持ち寄った弁当や国府町婦人会が用意した豚汁を平らげ、疲れを癒しました。

自然と音楽が一体のコンサート

貝がら節の里ヤサホーパーク

9月26日（土）、「貝がら節の里ヤサホーパーク（浜村砂丘公園）」で、県内で活動している音楽家たちによるコンサートが開催されました。集まった約300人の観客は、公園一面に敷かれた芝生に腰をおろし、振る舞われた豚汁を味わいながら、家族や友達、恋人同士で寄り添って音楽を楽しみました。会場は、時間がたつにつれて夕日や月明かりで次々と色彩を変え、観客は自然と音楽の一体感に酔いしれました。





「医療・健康情報コーナー」がお目見え

中央図書館

市立中央図書館に9月25日（金）、新たに「医療・健康情報コーナー」が開設されました。コーナーには、以前から要望の多かった医療や健康に関する図書に加え、生と死をテーマにした「いのちの絵本」など約3千冊の本が並びました。この日は、開設にあたって寄附をするなど貢献のあった方に感謝状が贈呈された後、関係者が新しく開設されたコーナーを見学しました。

気をつけて渡ろうね

福部町海士

「秋の全国交通安全運動」期間中の9月24日（木）、福部保育園で交通安全教室が行われました。園児たちは、啓発用のパネルシアターを見た後、保育園近くの横断歩道で実地練習。「わたしは必ず止まります。右を見て、左を見て、もう一度右を見て、さあ渡ろう」の掛け声を合図に、しっかり安全確認をして横断歩道を渡りました。園児たちは、交通安全に対する意識を新たにしました。



月より団子の「月まつり」

さじアストロパーク

10月3日（土）、さじアストロパークで行われた「月まつり」で、佐治中学校の茶華道部がお茶席を設け、来場者に抹茶を振る舞いました。部員たちは、少し緊張しながらも「もてなした人に喜んでいただけたらうれしいです」と笑顔で話していました。無機質な館内の一角に設けられた和を感じさせる空間に、抹茶と茶菓子をいただいた来場者は、ホッとした笑顔を浮かべていました。

とうふちくわで地元を元気に

鉄道記念物公園一带

10月3日（土）と4日（日）、扇町の鉄道記念物公園一带で「鳥取B級グルメフェスタ2009」が開催されました。これは、地元の人に愛されている、安くてうまいご当地グルメ、いわゆる「B級グルメ」で町おこしをしようと開催されたもので、静岡県富士宮市の「富士宮やきそば」や岡山県津山市の「津山ホルモンうどん」などの屋台が出店。鳥取市からは、とうふちくわを使ったまぜご飯やスイーツが出品され、長蛇の列ができていました。



「鳥の劇場」から鹿野の魅力を発信

鹿野町ほか

9月4日（金）から9月27日（日）にかけて開催された「鳥の演劇祭2」。今回も多彩な公演で多くの観客を魅了しました。公演以外にも「とっとり体験プログラム」「しかの町中おはなしラリー」など、地域を楽しむ企画も好評でした。その中の1つ「しかの・けたか路見伝記」では、鳥の劇場のメンバーが、参加者とともに自転車^{じけんぶつぎ}で、鹿野町、気高町のお寺を訪問し、住職や地元のみなさんとの交流を深めました。